

林業安全コラム

新たな視点でみつめる職場
創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災
(平成30年度 全国安全週間スローガン)

今月は、伐木等作業における労働災害防止に向けた愛媛県を取組をご紹介します。

○ 愛媛県：林業労働安全研修施設の整備

伐木等作業における安全対策の充実強化は全国的な課題となっています。特に、かかり木になりやすい樹種であるヒノキの生産が多い愛媛県では、伐木等作業における安全の確保は、今後増産を図るうえでも重要な課題の一つです。

そこで、愛媛県では、伐木、枝払い、造材、メンテナンスといったチェーンソーに関する技術の習得を行う訓練施設「室内実習棟」および研修機器を愛媛県農林水産研究所林業研究センター（愛媛県上浮穴郡久万高原町）に整備しました。

この施設は、「伐木・造材施術室内トレーニングルーム」、「チェーンソーメンテナンスルーム」、「高性能林業機械シミュレーションルーム」の3つに区切られ、研修機器は主に「伐木・造材室内トレーニングルーム」で使用します。研修機器には、「伐倒シミュレーター」、「かかり木処理シミュレーター」、「造材シミュレーター」などがあります。立木の伐倒作業の反復訓練を行う「伐倒シミュレーター」では、伐倒方向を定め、受け口と追い口を正しく作る反復練習を行います。鉛直方向から5度程度の偏心木の再現も可能です。



室内実習棟

これまで地元中学校の林業体験学習で25名、林業研究グループの研修で15名の方が利用されました。研修参加者からは、「この施設であれば、本来危険な作業であっても、安全性を確保して訓練を行うことができる。例えば風倒木に近い状態を作り、裂ける、割れるといった状況を安全に再現できるので、価値は大きい。」などの声が寄せられています。

今後については、①体系化された指導書の作成、②指導書に沿った訓練の実施、③室内実習棟および研修機器の安全な使用方法をカリキュラムとした「指導者養成研修」を実施することによって、県内各事業体のリーダーに、当施設を活用した担い手育成指導者としてのスキルを高めていただき、事業体の自主的活動を促し、人材育成の拠点としての機能を高めていきたいとのことです。



伐倒シミュレーター



かかり木処理シミュレーター



造材シミュレーター

林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

・北海道（警報発令期間：H30.7.1～H30.7.31）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

・林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-osei.org

林野庁
林業労働対策室
労働安全衛生班
TEL:03-3502-1629